

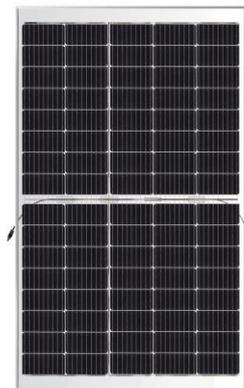
報道関係各位
プレスリリース

2024年7月吉日
Upsolar Japan 株式会社

太陽光パネルの経年劣化等による発電効率低下に対する リパワリング向け新型パネルを 2024年8月に販売開始

両面発電で発電効率向上

太陽光パネルの販売などを行う Upsolar Japan 株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役：李 晟平、以下 アップソーラー)は、2024年8月より、リパワリング向け太陽光パネル「UP-B310MH-T(40M10)」、「UP-B385MH-T(50M10)」の販売を開始いたします。



UP-B310MH-T (40M10)



UP-B385MH-T (50M10)

全量売電向けの固定価格買取制度(FIT)が2012年に導入されてから既に12年が経過しました。

現在流通しているパネルは、制度開始当初に流通した太陽光パネルと比べ1枚当たりの公称最大出力(W)が大幅に増大し、同時にパネル寸法も大型化しています。

稼働開始から 10 年を経過した設置案件も増え、最近ではリパワリングをご検討されるお施主様が増えており、様々なご相談を頂いております。

ただ現在主流となっている太陽光パネルは、公称最大出力(W)増大にともない上記の通りパネルサイズが拡大していることから、既設架台の大幅な調整が必要となる場合が多く、リパワリングご要望のお施主様の障壁として存在していることを認識しております。

そこでアップソーラーはリパワリングをご検討されるお施主様向けに、新製品の両面発電太陽光パネル「UP-B310MH-T(40M10)」 「UP-B385MH-T(50M10)」をご提案させていただきます。

本パネルは、固定価格買取制度(FIT)開始当初に設置された太陽光パネルとほぼ同寸法であり、施工時に架台側での大幅な調整が不要となる事から、施工に掛かるコストを大きく抑えることが可能です。

また両面発電パネルである為、パネル裏面からの発電量も得る事が可能となり、さらなる発電量の増加、発電効率の向上が期待できます。

上記理由によりリパワリングを検討される多くのお施主様のご要望にお応えする製品となっております。

■ UP-B310MH-T(40M10)、UP-B385MH-T(50M10)の特長

(1) リパワリングに最適なパネル寸法(1650×992×35mm、1956×992×35mm)

固定価格買取制度(FIT)開始当時(2012年)主流のパネル寸法のため、架台側の大幅な調整が不要となり施工効率アップとコスト削減が可能

(2) 両面発電パネルにより、さらなる発電量アップ

裏面からの発電により発電量が増加し、発電効率の向上が可能

本製品に関することはもちろん、リパワリングに関するその他ご質問もお受けしておりますので、お気軽にお問い合わせください。

■商品概要

名称	UP-B310MH-T(40M10)	UP-B385MH-T(50M10)
最大出力	310W	385W
パネル変換効率	18.9%	19.8%

販売開始日：2024年8月1日(木)

カタログ・仕様書：当社ウェブサイト 問い合わせフォームよりご連絡ください。

<https://www.upsolar.co.jp/ask>

■会社概要

社名：Upsolar Japan 株式会社

所在地：東京都千代田区神田神保町 1-13 CONVEX 神保町 10 階

代表取締役：李 晟平

設立：2010年8月25日

事業内容：太陽光パネル製造販売、アルミ製架台オリジナル製品の製造販売、その他太陽光発電に関わる機器販売 等

資本金：8,000万円

Web サイト：<https://www.upsolar.co.jp/>